

平成27年度施策評価シート(平成26年度実施事業)

施策名	幹線道路	施策コード 1-2-1	作成主管課	建設課
			関係課	都市計画課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第1章 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり[土地利用・都市基盤]
	小政策	2 多様な交流・連携を支えるネットワークを形成します
現況と課題	<p>本市は、東西方向に北関東自動車道、国道50号、南北方向に常磐自動車道、国道355号が通り、また、主要地方道などが連絡する広域交通の要衝となっています。これまでに、国道355号や主要地方道の一部区間の開通など、広域交通体系の整備促進が図られ、また、合併前の旧市町の一体化を促進する幹線道路も、合併に伴う財政支援策の活用により計画的な整備を進めてきました。特に、平成23年3月に北関東自動車道が全線開通したことにより、茨城港・茨城空港といった県内の主要施設と栃木・群馬方面との交通網が整備され、東京、東北方面を含めた「陸」「海」「空」をつなぐ交通の要衝としての機能が強化されました。この交通の要衝となる地理的優位性を、本市の成長につなげていくことが求められます。</p> <p>今後とも、この優位性を十分に生かし、居住環境の魅力や産業の活力を高めていくために、広域交通体系と適切に連絡する幹線道路の整備促進を図り、活力ある住みよいまちを目指す必要があります。</p> <p>また、市民生活の安全や利便性を確保するため、バリアフリー新法(高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)に基づくバリアフリー基本構想の策定について、検討を進める必要があります。</p>	
施策目標	活力ある住みよいまちづくりを目指し、市内外の交流を促進する道路網の構築に向けて、円滑な都市交通を形成する幹線道路の整備促進を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	事業の早期完成を求める意見や要望が数多くある。
-------------	-------------------------

(1) 目標指標1

市民実感性指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市街地間の移動が向上していると感じている市民の割合	市民実感性	67.370	61.120	64.460	59.770		
	加重平均値	2.812	2.726	2.760	2.705		
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		82.890	85.740	86.530		
	加重平均値		3.362	3.358	3.412		

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
幹線道路の整備率(改良率)	目標値	%		75.30	75.50	75.50	75.60	78.20
	実績値	%	76.60	76.60	76.60	77.81		
	達成度	%		101.73	101.46	103.06		
	ベンチマーク							
都市計画道路整備率	目標値	%		63.00	64.00	65.50	65.50	67.00
	実績値	%	63.00	63.00	66.00	67.80		
	達成度	%		100.00	103.13	103.51		
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	広域交通体系と適切に連絡する幹線道路は、「整備率」で把握する。
	目標値設定の考え方	道路整備の予算状況を考慮し、施工延長から設定した。

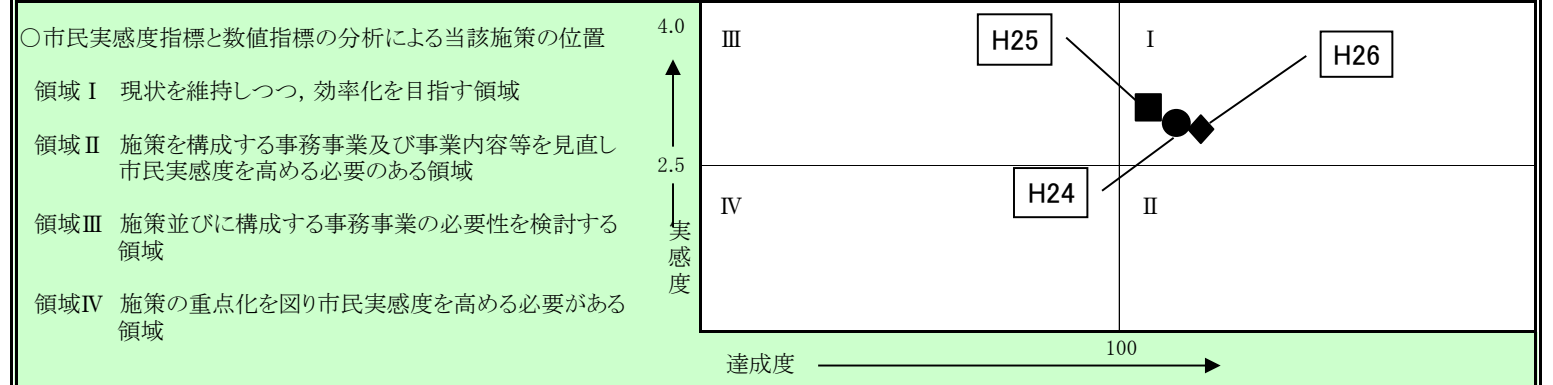
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 道路を供用開始した後の、道路法面の除草作業やごみ拾いなどの維持管理に関すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各事業の早期完成と、道路網の構築による交通利便性の向上を目指す。工事費等の経費節減や工事期間短縮を図るとともに、施設の長寿命化を検討する。

3 平成26年度の実績

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 各路線とも事業の説明会、用地交渉等を行い用地の取得が進み、4路線の道路舗装工事を行い延長2,420mが完了するなど成果が得られた。 都市計画道路岩間駅東大通り線(延伸部)L=573mの改良を計画的に施工した。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 本年度は、国費の採択もほぼ100%であり、各事業が進んだため目標が達成された。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 施策を構成する事務事業は、目標に直接働きかけをしていることから、構成としては適正である。
------------	---

残された課題	平成27年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 事業用地で未買収になっている箇所の取得が課題となっている。特に、地権者が死亡し相続手続きが済んでない案件の処理。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	平成28年度に向けた施策方針 事業の懸案となっている未買収地取得のため、関係地権者と積極的に交渉を継続する。バリアフリーの整備促進については、整備を優先する路線の特定を行い、国庫補助等を活用しながらコストの削減に取り組む。 幹線道路を整備することにより、交通混雑の解消や沿道地区の開発が進められる。また、災害時の避難路としても利用できることから、早期整備を目指す。
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価			
			成果指標	単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成24年度		平成25年度	平成26年度	
1	社会資本整備総合交付金事業(都)上町大沢線	北関東自動車道友部ICと友部地区市街地を連絡する都市計画道路であり、地区内の交通混雑緩和と地域間の連絡強化を図る道路整備事業	建設・整備事業	整備進捗率	%	85	100		国県補助	51,930	82,044		1
2	幹線道路整備事業 来栖本戸線	国道50号の渋滞緩和を図り、併せて北関東自動車道へのアクセスを強化し、地域の東西軸の形成を図る幹線道路の整備事業	建設・整備事業	整備進捗率	%	33	45	55	国県補助	153,902	142,200	109,297	2
3	合併市町村幹線道路緊急支援事業 南友部平町線	本路線は、笠間地区と友部地区とを結ぶ幹線道路として計画し、合併支援道路の認定を受けた路線。	建設・整備事業	整備進捗率	%	23	25	33	国補助	13,780	28,500	125,204	4
4	幹線道路整備事業 笠間小原線	笠間地区とJR友部駅を結ぶ重要な幹線道路の整備事業。	建設・整備事業	整備進捗率	%	38	58	69	国補助	148,738	142,394	73,680	2
5	社会資本整備総合交付金事業(友)1級5号線	本路線は、友部地区市街地から国道50号を結び、JR友部駅や県立中央病院へのアクセス向上を図るための幹線道路として整備を行う。	建設・整備事業	整備進捗率	%	70	75	78	国補助	45,796	27,539	99,884	2
6	社会資本整備総合交付金事業(友)2級6号線	友部地区市街地と南東部の住宅地を結ぶ幹線道路として計画し、交通混雑緩和と地域間の連携強化を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	80	98	98	国補助	36,547	11,655	0	4
7	都市計画道路再検討事業	都市計画決定後、整備未了となっている都市計画道路について、計画の必要性、事業の支障となる要因等を評価し、計画の継続、変更、廃止の方向性を判断し、それに基づいた都市計画の変更等の手続きを行う。	計画策定事務	見直し対象路線数	路線	21	7	6	国補助	10,597	3,166	1,046	3
8	社会資本整備総合交付金事業 岩間駅東大通り線(延伸部)	本事業は、都市計画道路日吉町古市線との交差点部付近から国道355号バイパスまでを延伸整備し、アクセス性の向上を図り、都市の健全な発展に寄与する。 L=680m、w=6.0/20.0m、C=830,000千円	建設・整備事業	工事進捗率	%	0	26	80	国補助	192,132	161,174	142,394	1
9	防災・安全社会資本整備交付金事業 岩間八郷線	岩間地区市街地及び常磐道岩間ICと石岡市を結ぶ幹線道路として計画し、地区内の交通混雑緩和と地域間の連絡強化を図る道路整備事業	建設・整備事業	整備進捗率	%	0	15	99	国補助	0	21,253	112,137	1
10	防災・安全社会資本整備交付金事業(社会資本整備総合交付金事業) (友)2級5号線	主要地方道水戸岩間線と一般県道友部内原線を結ぶ幹線道路であり、茨城県立中央病院へ向かう車両も多く通行する道路であるため、通勤通学者の安全を確保する道路整備を行う。	建設・整備事業	整備進捗率	%	0	3	20	国補助	0	16,097	103,642	4
11	幹線道路整備事業 友部池野辺線	本路線は、友部地区市街地と城里町方面を結び、JR友部駅や県立中央病院へのアクセス向上を図るための幹線道路として整備を行う。	建設・整備事業	移動時間短縮	分	0	0	1	国補助	0	17,500	22,088	4
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										653,422	653,522	789,372	

# シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 幹線道路

施策目標に対する事務事業の意図	1	社会資本整備総合交付金事業（都）上町大沢線 幹線道路整備事業 来栖本戸線 合併市町村幹線道路緊急支援事業 南友部平町線 幹線道路整備事業 笠間小原線 幹線道路整備事業（友）1級5号線 社会資本整備総合交付金事業（友）2級6号線 社会資本整備総合交付金事業岩間駅東大通り線（延伸部） 防災・安全社会資本整備交付金事業 岩間八郷線 防災・安全社会資本整備交付金事業（友）2級5号線 幹線道路整備事業 友部池野辺線	2	都市計画道路再検討事業	4	
	3		5		7	
	6		8		9	
	←	←	←			
	施策の対象と一致している		施策の対象と概ね一致している		施策の対象と間接的（少数）である	
	施策の対象と事務事業の対象					

法定受託事務（義務的事業に分類）

事務事業の成果基準の説明

